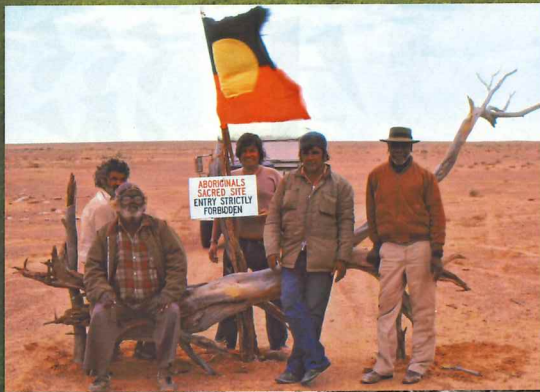


写真と証言で伝える

22年2月刊行

# 世界のヒバクシャ

## 3 旧ソ連・核保有各国による核被害と日本のヒバクシャ



平和図書

- 仕様:A4変形・上製本・総頁数256頁
- 定価:本体 (15,000円+税)
- ISBN:978-4-86369-662-4
- 豊崎博光 著 (写真・文)

全巻構成

1巻	マーシャル諸島住民と日本マグロ漁船乗組員	2019年 11月刊行
2巻	アメリカ被ばく元兵士と被ばく住民	2020年 11月刊行
3巻	旧ソ連・核保有各国による核被害と日本のヒバクシャ	2022年 2月刊行

世界のヒバクシャ3の特長

### I 旧ソ連 (ロシア、カザフスタン) の核実験によるヒバクシャ

カザフスタン・セミパラチンスクの核実験にともなう被ばく被害は周辺国家までおよぶがカザフスタンだけでも法律で132万人のヒバクシャとしている。ほかにロシア北極圏のノバヤゼムリヤ島の核実験により先住民族ネネツのヒバクシャ、カムチャツカ半島の核実験による先住民族イテリメンのヒバクシャなどの証言も掲載した。

### II 旧ソ連 (ロシア、ウクライナ) の原発事故によるヒバクシャ

チェルノブイリ原発事故にともなう作業員のヒバクシャ、ウクライナ住民、ベラルーシ住民のヒバクシャについて写真とともに収録した。さらにチェルノブイリ原発事故にともなう放射能汚染の影響で被害を受けた北欧の先住民族サーミについても掲載した。

### III イギリスの核実験によるヒバクシャ

イギリスはオーストラリア周辺の島、オーストラリアの砂漠、そして中部太平洋で核実験を続け、大きな被害を生み出した。特に核戦争を想定した合同軍事演習に参加したイギリス兵、オーストラリア兵、ニュージーランド兵、カナダ兵などが多数被ばくした。さらにオーストラリアでは核実験場周辺の先住民族アポリジニがヒバクシャとなった。

### IV フランスの核実験によるヒバクシャ

フランスの核実験は主にアルジェリアのサハラ砂漠と南太平洋のモロリア環礁でおこなわれた。ヒバクシャはフランス兵15万人、ほかにニュージーランド兵、アルジェリア兵、住民、ニジェール住民、そしてポリネシア住民と被ばく被害は数か国に及んでいる。

### V ウラン採掘と精錬によるヒバクシャ

世界中のウラン採掘と精錬によるヒバクシャについて解説したほか、オーストラリア・アポリジニ、カナダ住民、ナミビア採掘労働者、ナイジェリアなどのヒバクシャの証言と写真を収録した。

### VI 核廃絶への歩み

日本と世界の反核・非核運動と反原発運動について時系列にわかりやすく解説。

SDGs理解のための学習本

すいれん舎

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-14 第二万水ビル TEL 03-5259-6060 e-mail:masato@suirensa.jp

写真と証言で伝える世界のヒバクシャ

1	マーシャル諸島住民と日本マグロ漁船乗組員	本体価格15,000円+税 ISBN978-4-86369-542-9	冊
2	アメリカ被ばく元兵士と被ばく住民	本体価格15,000円+税 ISBN978-4-86369-625-9	冊
3	旧ソ連・核保有各国による核被害と日本のヒバクシャ	本体価格15,000円+税 ISBN978-4-86369-662-4	冊

取扱店

FAX 03-5259-6070